

東都医療大学図書館通信

第156回芥川賞・直木賞 決定!

～ 1月19日選考会が行われました ～

先月19日、第156回芥川龍之介賞・直木三十五賞に選ばれた作品が発表されました。

【芥川賞】 山下澄人さん『しんせかい』(新潮7月号)

【直木賞】 恩田 陸さん『蜜蜂と遠雷』(幻冬舎)

山下さんは4度目の候補、恩田さんは6度目の候補で受賞されたそうです。図書カウンター前「みんなのイチオシ本」コーナーでは、当館の所蔵する受賞作家さんの本を展示させていただいております。ジャンルが幅広く、どのタイトルも読み応えのある作品です。普段は、解剖生理学や病態関連図など、医療に関する図書を借りることが多い皆さんも、ぜひファンタジーの世界へ飛び込んでみませんか。文章による様々な表現から自分で想像することは、他者がつくった映像でみるのとはまた違った面白さがあります。ぜひ、登場人物の声や感情を想像して、自分だけの物語を頭の中で描いてみませんか?



生きることを問う

～ 西加奈子さんの渾身の一作、『サラバ!』を紹介します ～



『サラバ!』(上下巻) 西加奈子:著/ 小学館:刊

30代男性の主人公・歩(あゆむ)を通して、重厚なテーマが浮かび上がる『サラバ!』。

生きること、そして信じることは何であるか——著者・西加奈子さんが本気でぶつかっているこのテーマに、胸打たれる読者もきっと多いことと思います。

複雑な家庭環境に生まれ育ち、悩み苦しみながらも生き続ける歩。30余年の人生を送ってきた今、歩自身のモヤモヤした何かが最後にパーッと開ける瞬間は、読んでいる私たちも何か一筋突き抜けるような不思議な感覚に包まれます。

いま、充実した1冊に出会いたい方。西さんの世界観に触れてみませんか。上下巻700ページにわたる大河小説は、時間を忘れ、西ワールドに魅了されること間違いなしです。図書館に所蔵ございます。ぜひ、西さん渾身の一作をご一読ください。

1月下旬～2月中旬までに配架された図書・DVD・雑誌など

《図書》

『医療六法 平成29年版』『実務衛生行政六法 平成29年版』『社会福祉六法 平成29年版』
『治療薬マニュアル2017』『ナースのためのくすりの事典2017』『今日の治療指針2017』
『今日の治療薬2017』『社会福祉の動向2017』

《DVD》

『悲しみへの慰めとサポート全5巻』『精神疾患・障害の基礎知識③統合失調症』
『精神疾患・障害の基礎知識⑨青年期の精神障害』『看護の歴史⑧戦後の改革GHQ時代』
『見て知るリハビリテーション看護②リハビリテーション看護とチームアプローチ』
『ナーシングマナー全4巻』『地球交響曲第七番』

《雑誌》

<http://www.lib-finder2.net/tohto/servlet/New?findtype=1> (OPAC参照)

看護・医療図書が10%OFFで購入できます!

展示販売のお知らせ

展示販売	納品
書籍展示は、 2017年4月に再開予定です。	
それまでの間、本を購入したい場合は、 廣川書店へ直接注文して下さい。	
＜廣川書店 連絡先＞ TEL:027-322-4804 Mail: takasaki@hirokawa-books.co.jp ※注文の際は、必ず、大学名、学生番号、氏名を伝えて下さい。	



本を読みましょう

精神看護学 安田美彌子

私は70歳を超えて東都医療大学で精神看護を教えることになりました。これまで長い教員経験があったのですが、「ヒューマンケア演習」を初めて学生さんと学ぶ機会を得ました。まだ私にはヒューマンケアということがよく理解できていないのですが、「エビデンスのある質の高い看護を提供するだけでなく、患者さん一人一人の生き方や価値観などを尊重し、患者さんに寄り添い、セルフケアをはぐくみ、患者さんとの交流を深めることによって看護師自身も成長していく」ことのように思います。

年齢も性別もそれぞれで、生活背景も生き方も価値観もいろいろな患者さんを理解し寄り添うことはとても難しいことだ

『人生の1つ! 神谷美恵子
いのちのよろこび』
神谷美恵子/著、日本図書社刊、

『本の「使い」方
1万冊を血肉にした方法』
出口治明/著、株式会社KADOKAWA刊、

と思います。そのためには対人交流をたくさん、たくさん持つ体験が必要だと思いますが、現実にはスマホなどを通しての表面的な交流が多く、一人一人と向き合った深い交流は多くは望めないように思います。そんな時に人間理解を深めるに役に立つのは本をたくさん読むことだと思います。直接学習に役立つ本ばかりでなく、面白い小説や随筆などをたくさん読むことが大切だと思います。稀代の読書家であり実業家でもある出口治明さんは生活を豊かにするには教養が必要であり、教養を身に着けるには読書が一番だといっています。

また精神科医であり、哲学者でもある神谷美恵子さんは看護学生への講演で「生きがいをもっとはっきり感じられる時の一つは、自分の存在が何かのために、誰かのために必要とされていると感じられるときでしょう。皆さんは看護婦さんという、他人から最も必要とされる職業を選びました。多くの困難や努力を代償にしても惜しくないだけの生きがいが、皆さんの行く手には約束されています。しかし、生きがいの対象として、人間ばかりでなく、何か趣味とか読書とか、また一人で美しい自然を眺めるとか、そうした活動も若いうちに身に着けておくといいと思うのです。時々人間の世界から脱出して、知識の世界、思索の世界、美の世界、人間を超えた超自然の世界などに心を遊ばせることは、どれだけ人間の心にゆとりを与え、他人に関係のない生きがいを与えてくれることでしょうか。」と述べています。

私の実感としても読書は一人でいる時間をとても豊かなものにしてれています。読書をするによって「自分の頭で考え、判断し、自分の言葉で自分の意見を言う」ことができるようになります。本を読みましょう。

特別展「雪村 - 奇想の誕生 -」



「ゆきむら」ではなく「せっそん」です。

昨年放送されていた大河ドラマ『真田丸』をみていた方は、字は違えど思わず「ゆきむら」と読みたくなってしまいますが、今回紹介するのは、戦国時代、東国で活躍した画僧・雪村周繼(せっそんしゅうけい)です。雪村は常陸国(現在の茨城県常陸大宮市)で武家の一族に生まれ、幼くして出家し、画業の道へ進みます。彼が描く人物画や山水画はドラマティックで独創的なものが多いのですが、動植物には写実的かつ細やかな感性をみることができます。こうした雪村の作風に魅せられたのが、かの有名な尾形光琳です。光琳は雪村画を綿密に模写し、「雪村」という石印まで所有するほど敬愛していました。また、新しい日本画を創り出すため、雪村の作風は近代画家らによって深く研究されてきました。

展示会のみどころのひとつとして、雪村芸術の後世への継承をはじめて検証し、実作例にて紹介しています。15年ぶりとなる大回顧展。そして、実物からしか味わえない息を呑む世界観。あの奇想の画家、若冲より200年も前に生まれ、元祖「奇想の画家」とも言うべき破天荒をみせる雪村芸術に、あなたも圧倒されてみませんか。

【左】雪村筆 〔呂洞賓図〕 重要文化財 1幅 119.2×59.6cm 奈良・大和文庫蔵【展示期間: 3月28日~4月23日】/【右上段3枚】雪村筆 《欠伸布袋・紅白梅図》 3幅 各 120.5×64.3cm 茨城県立歴史館蔵【展示期間: 3月28日~5月21日】/【右中段3枚】雪村筆 《琴高仙人・群仙図》 重要文化財 3幅(中央) 121.5×54.0cm (左右) 121.0×56.0cm 京都国立博物館蔵【展示期間: 4月25日~5月21日】/【右下段2枚】雪村筆 《龍虎図屏風》 6曲1双 各 155.6×350.4cm 東京・根津美術館蔵【展示期間: 4月25日~5月21日】/

カピバラ温泉



寒い日には温かいお湯が一番! カピバラさん達も温泉が大好きなようです。写真の様子は入り始めた頃。この後も次々とカピバラさんが温泉につかり、湯船がいっぱいになっていました。運が良いと打たせ湯をしている姿もみられるそうです。

会場: 東京藝術大学美術館(東京都台東区上野公園12-8) 会期: 2017年3月28日(火) - 5月21日(日) ※会期中、展示替えあり
開館時間: 午前10時 - 午後5時 ※入館は開館の30分前まで 休館日: 月曜日 ※ただし5月1日は開館 観覧料金: 一般1,600円 / 大学生1,200円 / 高校生900円
※中学生以下は無料 ※障がい者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料 公式サイト: <http://session2017.jp> お問い合わせ: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)